

牧野植物園の継承者たちⅡ

太田洋愛

ボタニカルアート展



Y. Ohta

Makino Botanical Garden Presents

An Exhibition of Yoai Ohta's Botanical Art

2015年4月25日[土]～6月28日[日]

牧野富太郎記念館 展示館 企画展示室 【主催】高知県立牧野植物園

[休園日] 年末年始(12/27～1/1)

[入園料] 一般720円(高校生以下無料)、団体620円(20名以上)、年間入園券2,880円(1年間有効のフリーパス) ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

□ 駐車場無料(普通車195台、バス8台) □ JR高知駅から車で約20分、高知自動車道「高知IC」から五台山方面へ約20分

高知 牧野植物園

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

〒781-8125 高知市五台山4200-6

TEL 088-882-2601(代表)

www.makino.or.jp

# An Exhibition of Yoai Ohta's Botanical Art

## 牧野植物図の継承者たちⅡ

# 太田洋愛 ボタニカルアート展

牧野富太郎の植物図に影響を受けた人物を紹介するシリーズ「牧野植物図の継承者たち」第二弾の今回は、日本ボタニカルアートの先駆者、太田洋愛のボタニカルアートを紹介します。1929年に牧野から手紙で植物画の指導を受けた太田は、植物画家としての道をスタートし、牧野の教えを大切に生涯植物画を描き続けたといいます。本展では「原色図譜園芸植物」(平凡社)の原画を中心にサクラ・ラン・バラなど約90点を展示。貴重な原画のほか解剖図やスケッチなど、普段なかなか目にする機会の少ない牧野と太田のスマイルの線画も一緒に紹介します。また今回は、太田の最後の弟子となる杉崎紀世彦・杉崎文子のボタニカルアートも特別に展示します。牧野が「精密ヲ要ス」とした植物図が、現在にどのように受け継がれているのかご覧ください。



太田洋愛

おおた ようあい (1910~1988年)

愛知県生まれ。愛知県立成章中学校(現在・愛知県立成章高等学校)在学中に洋画を学ぶ。卒業後は旧満州に渡り大賀一郎に師事。帰国後は理科教科書や百科事典等の挿図、「NHK趣味の園芸」等の表紙挿画を担当。主な著書に「原色日本のラン」「日本桜集」等。日本ボタニカルアート協会創立委員。



「実物と同じ大きさに描くことを、わしは牧野博士から厳しく指導されている」初めて実寸大の牧野博士の植物図を拝見して、私たちは太田洋愛先生からいただいた教えの原点が牧野博士だったことに気づき感動いたしました。牧野博士の植物図をよくよく拝見しているうちに、太田洋愛先生の言葉が思い出されてきたのです。(杉崎 紀世彦、文子)

杉崎 紀世彦 すぎさき きよひこ (1940~)

杉崎 文子 すぎさき ふみこ (1945~)

太田洋愛に師事しボタニカルアートを学ぶ。山形をテーマに植物を描き続けている。講座や、国内外で個展を開催。日本ボタニカルアート協会会員(紀世彦)、日本植物画倶楽部会員(紀世彦、文子)。



## SIDE EVENT

### ボタニカルアート講座

【講師】杉崎 紀世彦、杉崎 文子

【日時】●5/30(土)初心者対象 ●5/31(日)経験者対象 各日13:30~16:30

【場所】本館 アトリエ実習室 [定員] 各日30名 [参加費] 500円

【持ち物】鉛筆、消しゴム、ティッシュペーパー、筆洗、直径15センチくらいの白い陶器皿

【申込】4月1日(水)9:00~(先着順)

FAXまたは当園ホームページの「催し情報」の「申し込みフォーム」にて受け付けます。また、当園の入園窓口でも直接申し込みいただけます。

▶ FAX 088-882-8635 ▶ ホームページ [www.makino.or.jp](http://www.makino.or.jp)

### ギャラリートーク

【日時】5/30(土)、31(日) 各日10:30~11:30 【場所】展示館 企画展示室

【申込】不要。直接会場にお集まりください。

上:ヤマブキソウ、アザミゲシ、ポタンゲシ 下:デンドロビウム類  
表面 左上:カクテル 右下:ガーデン・パーティ

